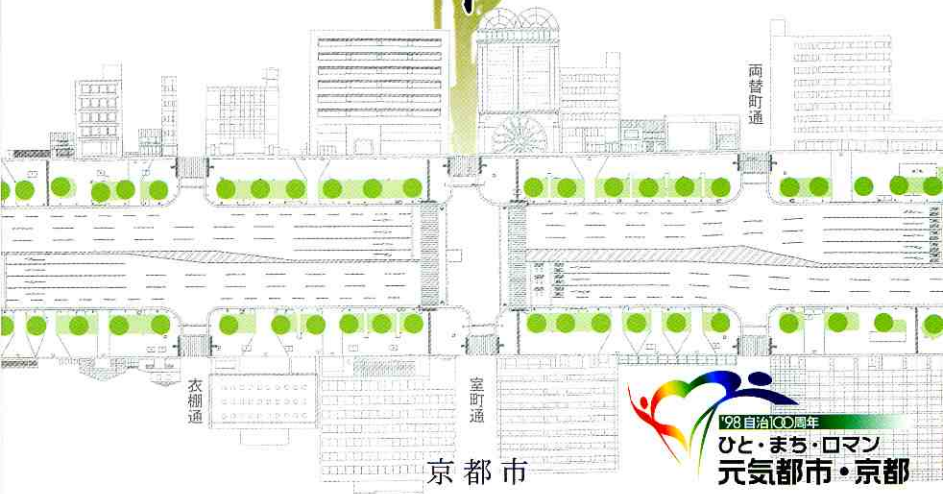


御池通シンボルロード



御池通シンボルロードの整備に当たって



京都市長

林 幸 頼 兼

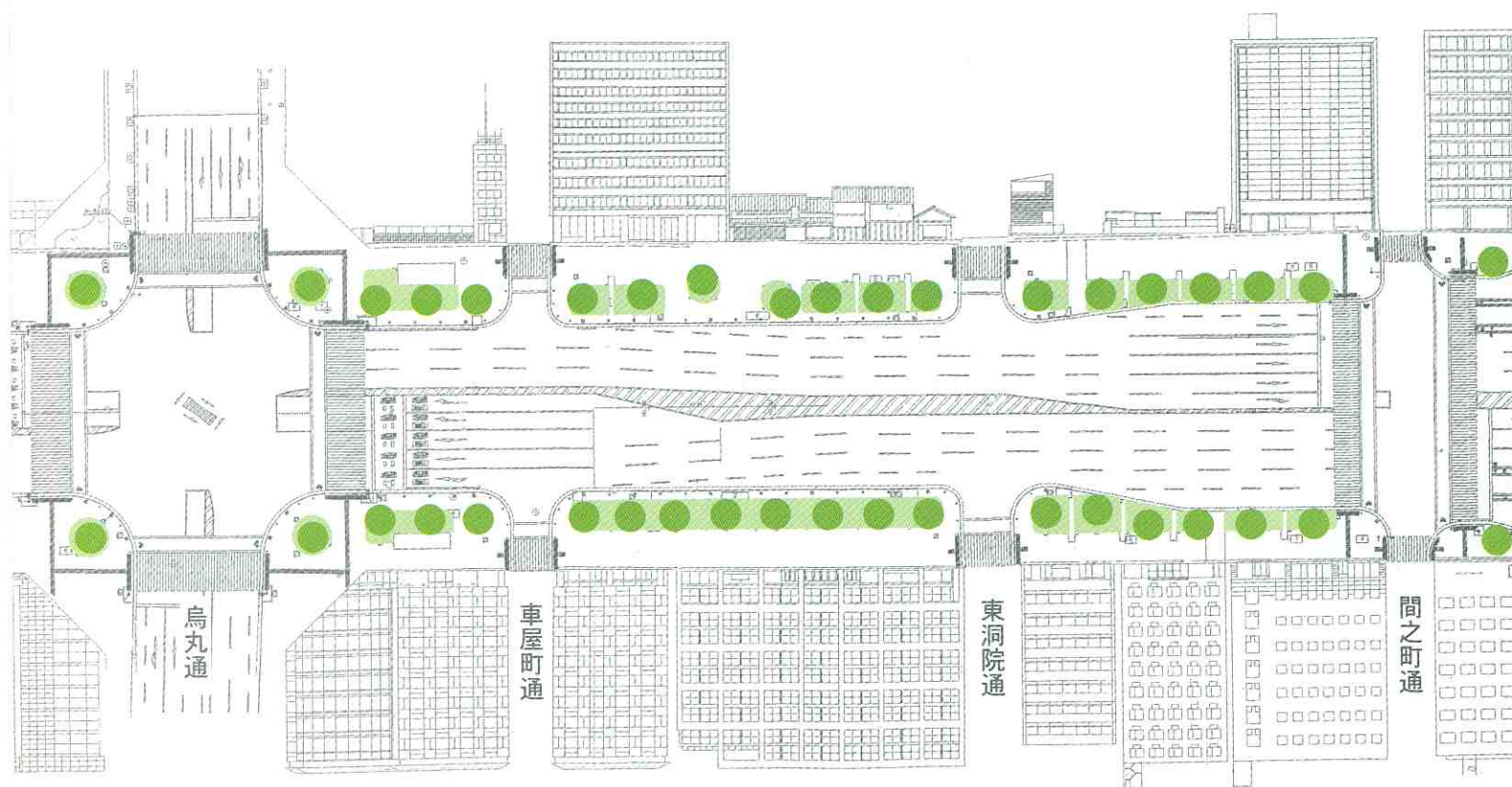
御池通は、市内中心部を東西に走る主要幹線道路として大きな役割を果たすとともに、祇園祭や時代祭の巡行ルートとして、また、平成6年度に新たに創出した市民参加による京都まつりの舞台として親しまれる、京都を代表する道路であります。

この御池通を、市民の皆様に親しまれ、生活に潤いと安らぎを与える道路として、また、世界の人々を魅了する京都のメインストリートとして、新たなときめきとにぎわいの空間となるよう「御池通シンボルロード整備事業」を実施いたします。

本事業は、「みち にわ ぶたい」をキーワードとした街路整備事業と庭づくりをテーマとしたアート空間創生事業を併せて実施するものであります。

御池通が、沿道の皆様のご利便性の向上はもとより、市民の皆様や国内外から京都を訪れる多くの皆様から愛され、新たな文化との出会いや語りといこいの空間として、21世紀の京都を先駆けるシンボルロードとなり、京都のまちの活性化に大きく寄与するものと確信しております。

今後とも、夢とロマンあふれるまちづくりに全力を傾けてまいりますので、皆様方の一層の御理解並びに御協力を賜りますようお願い申し上げます。



●街路整備事業

キーワードは、「みちにわぶたい」

街路整備事業のコンセプト「京都らしさ」を具体化するため、「みちにわぶたい」というキーワードに従って事業化を進めます。

みち

幹線道路としての機能性・安全性と、シンボルロードとしての一貫性

にわ

「歩く喜び」を感じさせる、人が主役の快適空間

ぶたい

市民参加による祝祭・各種パフォーマンスなどの開催

○整備概要

■整備区間：堀川通～御池大橋〔道路延長1.7km〕

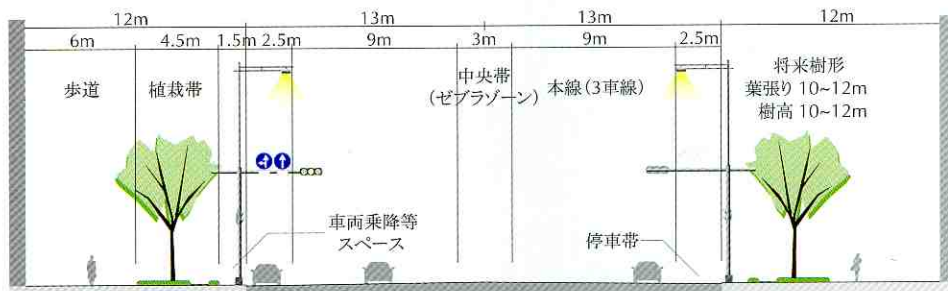
■道路幅員：50m〔車道幅員26m(片側3車線)、歩道幅員24m(片側12m)〕

○整備内容

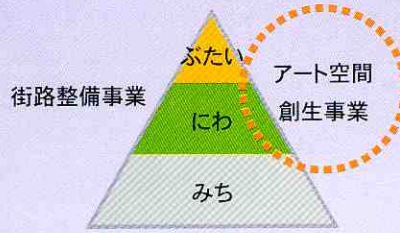
■歩道を2倍に拡幅

緩速車線(副道)を廃止して、歩道幅員を2倍の12mに拡幅します。

既存のケヤキを緑化の主要樹木として用い、ケヤキ並木を育成します。



御池通シンボルロード整備事業は 街路整備事業とアート空間創生事業で 構成されます



●アート空間創生事業

コンセプトは、「庭としての御池通」

アートが21世紀の道空間<御池通>を創造します。

・数多くの名庭を有する京都は「世界の庭」といえます。

・21世紀の京都のシンボルとなる道<御池通>に、文明、自然、人間をつなぐものとして、アート空間により庭をつくりだします。

・具体的には「径庭(みちにわ)」「中央分離帯」「大交差点」「ストリートファニチャー」等をアート化(造形芸術の導入)します。

■径庭(みちにわ)はアートとの交感の場

径庭は歩道の上に展開されるアート空間です。散策路を含む植栽帯部分に、市民の皆さんが楽しみ、憩える場所として19箇所つくります。

■中央分離帯はシンボルゾーン

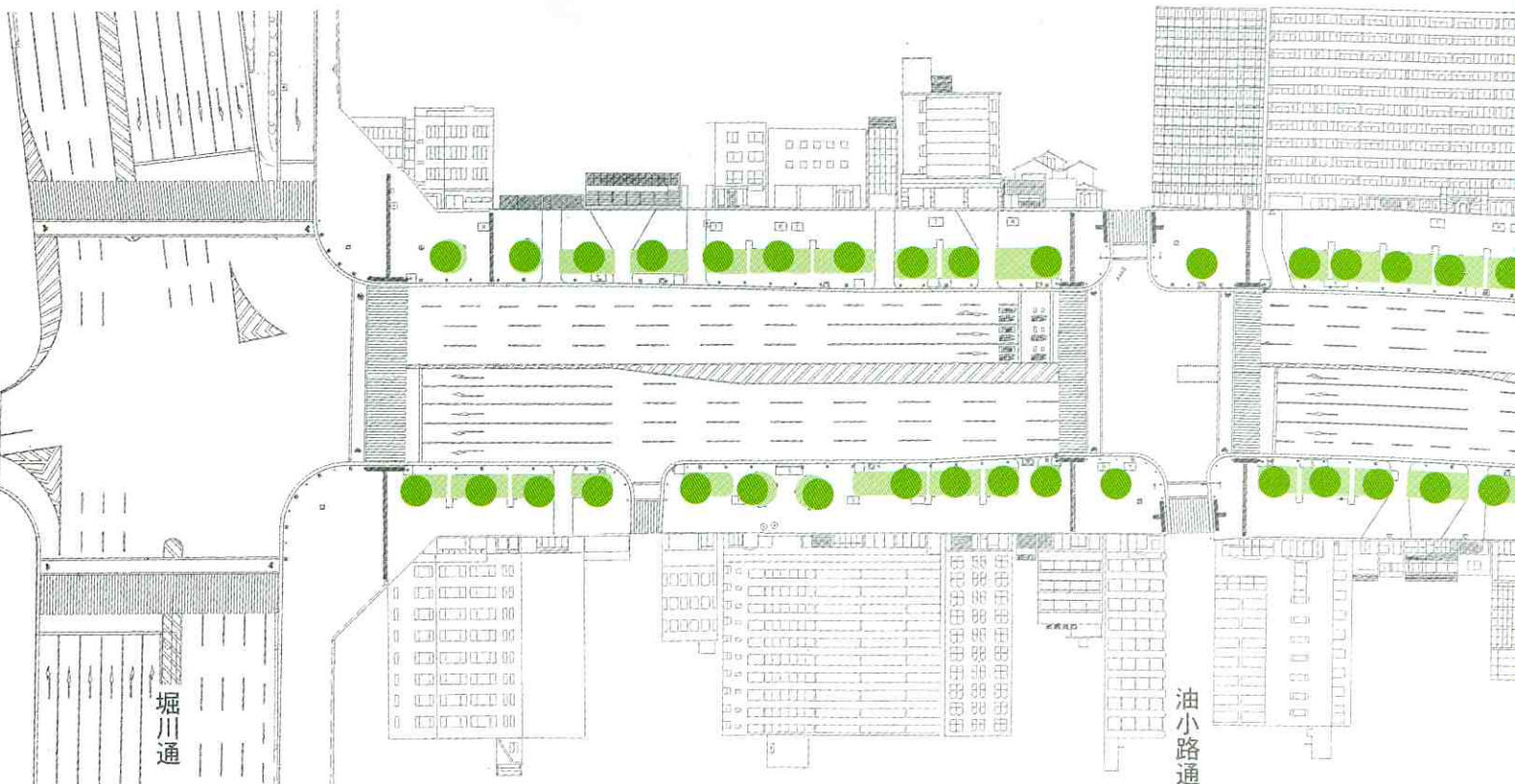
河原町通～木屋町通の中央分離帯は、修景の焦点となる浮島であり、御池通のシンボルゾーンとなるアート空間として整備を図ります。

■大交差点をアートが印象づけます

堀川通、烏丸通、河原町通の大交差点と、御池大橋西詰付近に、シンボリックなイメージを発信するランドマークとなるアートを導入します。

■ストリートファニチャーのアート化

ベンチ等の一部をアートによって表現します。



●ケヤキ

現存するケヤキを大交差点やシビックステーション(バス停)等に移植して、シンボルとして活用します。

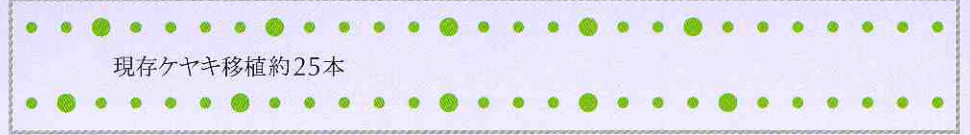
全体本数
212本

全体本数
約270本

整備前



シンボルロード完成時



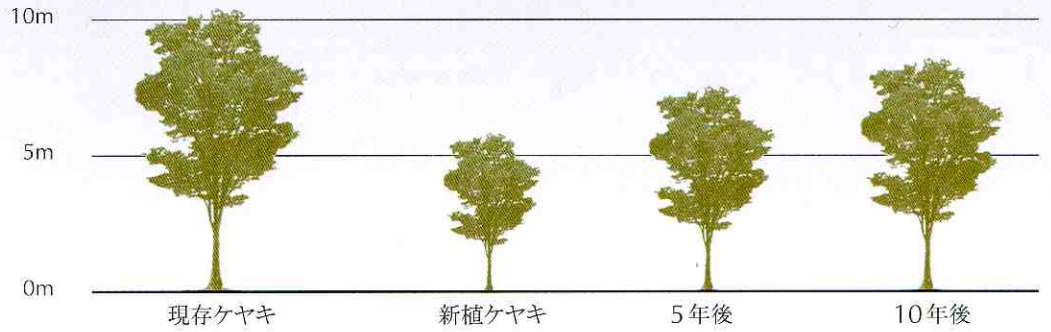
堀川通

烏丸通

河原町通

鴨川

●ケヤキの成長の仕方



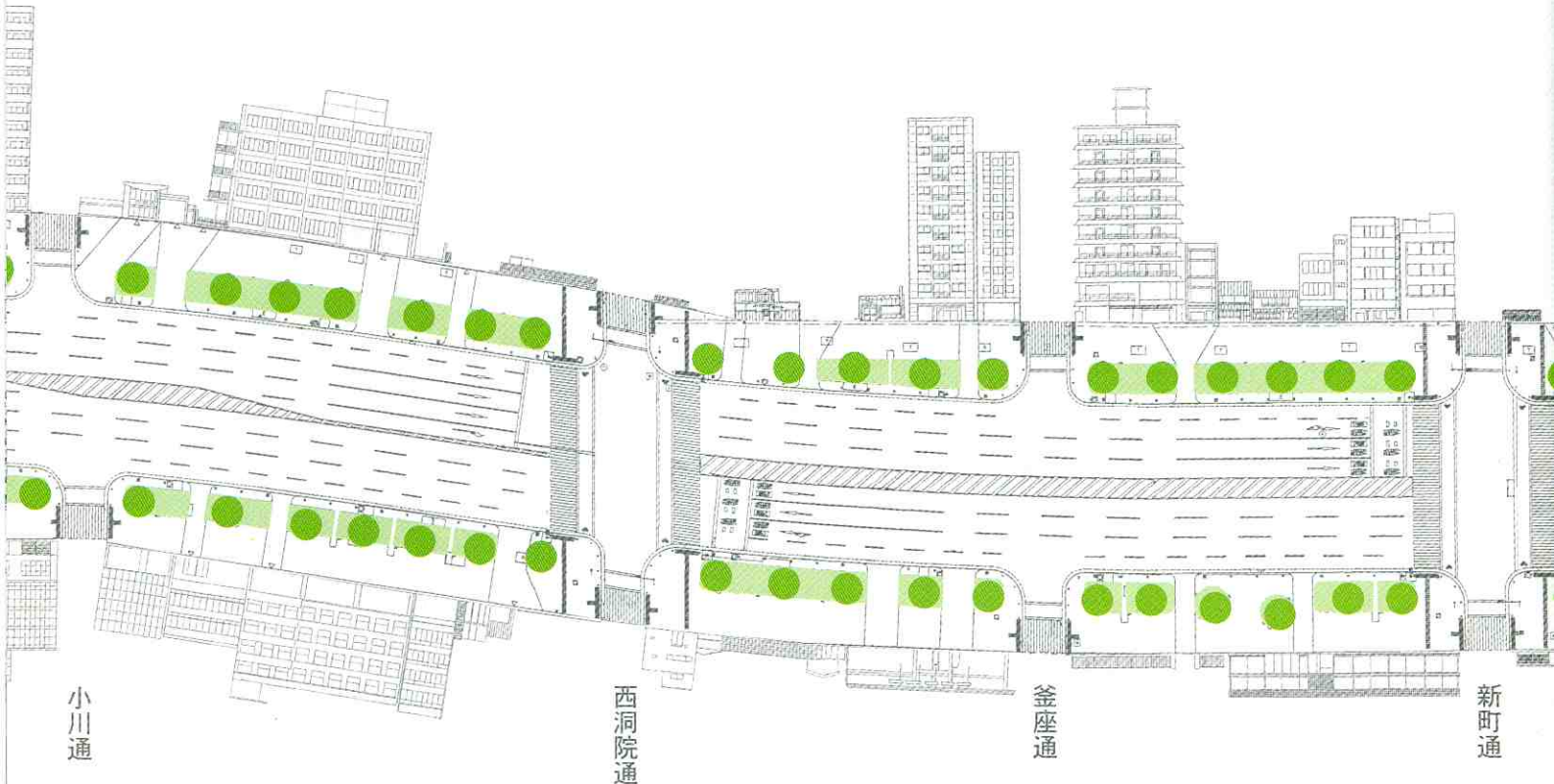
事業費	約78億円(街路整備事業約65億円、アート空間創生事業約13億円)		
完成予定年度	平成14年度		
経過	平成8年6月	街路整備事業計画(中間報告)発表	
	平成9年12月	街路整備事業実施計画発表、アート空間創生事業基本計画発表	

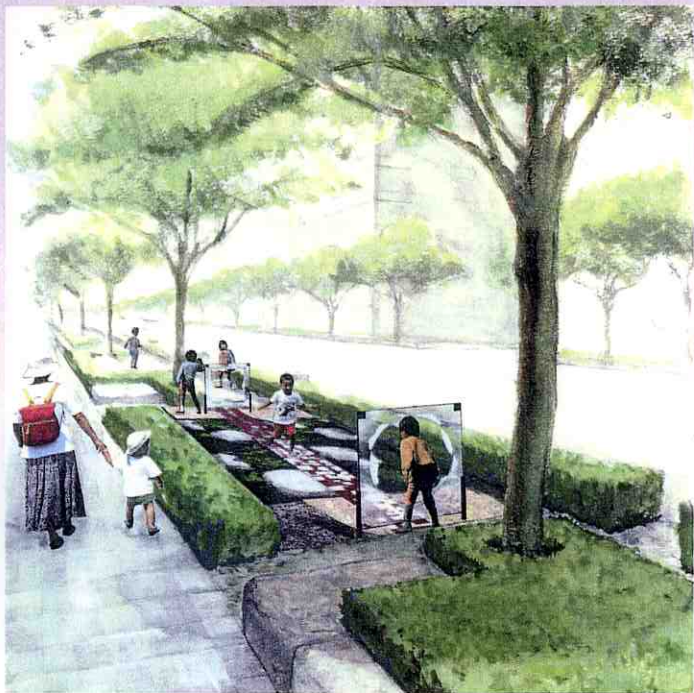
本事業の連絡先は次のとおりです。

街路整備事業	都市建設局街路部街路建設課	TEL 075-222-3577
アート空間創生事業	総合企画局政策企画室	TEL 075-222-3035

関連する事業の連絡先は次のとおりです。

沿道景観形成地区の指定・沿道景観形成計画の立案	都市計画局都市景観部都市景観課	TEL 075-222-3474
-------------------------	-----------------	------------------

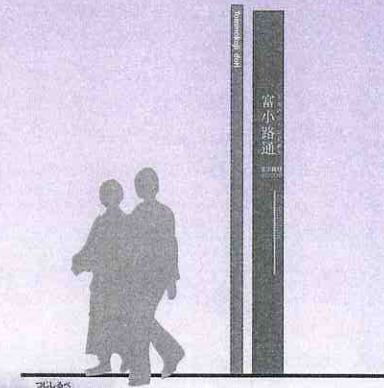




みちの
●径庭イメージ図



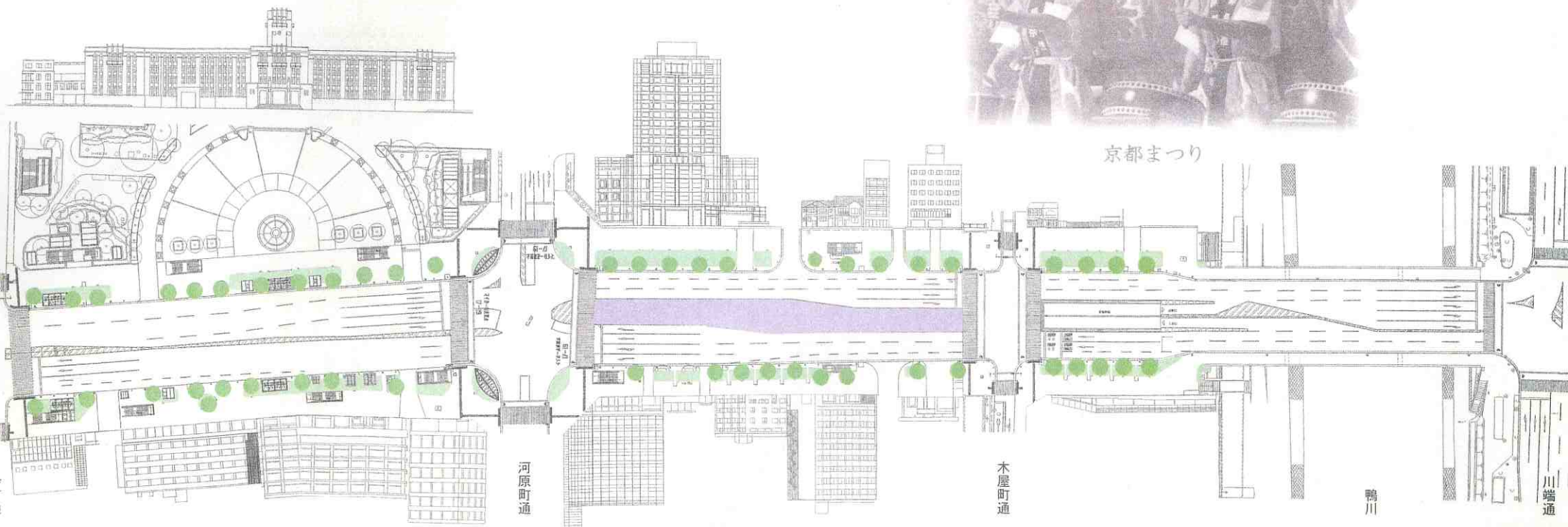
●道路照明イメージ図
歩道に柱式のものあしよりと足下灯を設け、車道用照明と合わせて、暖かみのある楽しい空間にします。

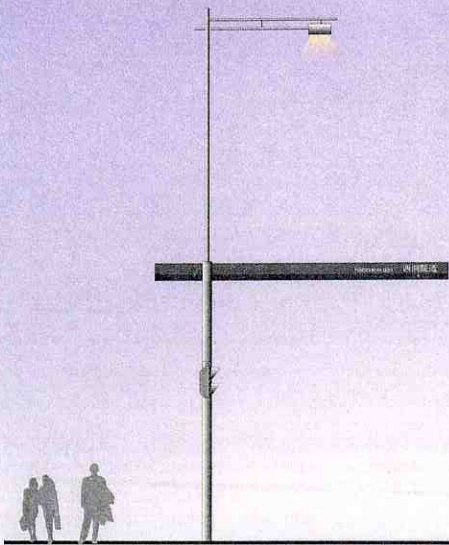


●辻標つしなべ（歩行者用通り名サイン）
通り名を四ヶ国語で表示するとともに、通り名の由来を表記して歴史の深みを伝えます。



京都まつり

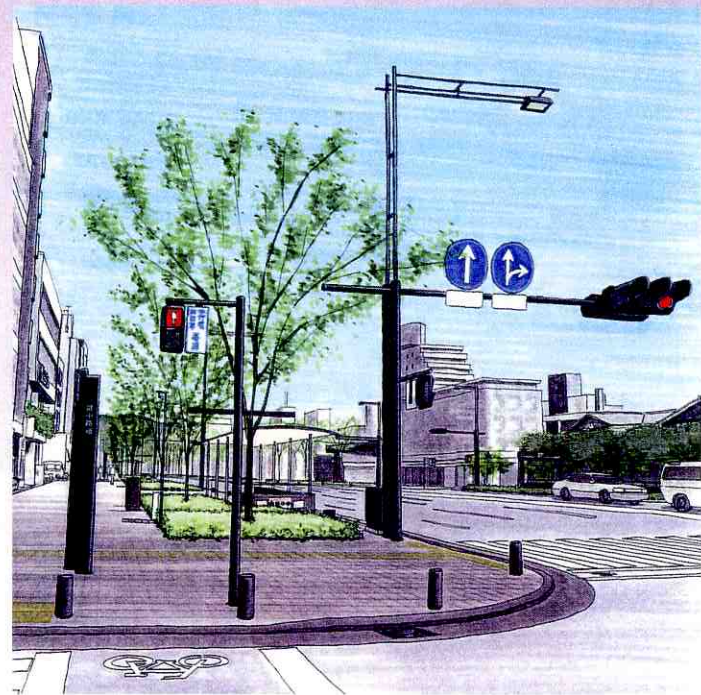




●システム柱
照明灯、信号機、交通標識等を共架して、
京都らしい繊細でシンプルなデザインとします。



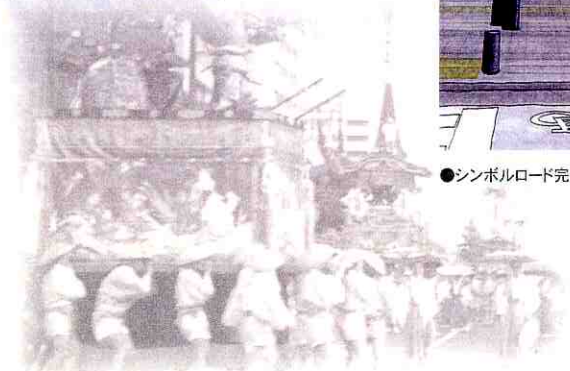
●シックステーション(バス停)
既存ケヤキを移植して憩いの空間とします。



●シンボルロード完成予想図



時代祭



祇園祭

